

# 令和3年度 第1回仙台市広域集客型産業立地促進助成金交付事業選定委員会 議事要旨

## I 会議概要

- 1 日 時 令和3年7月29日(木) 16:00~17:40
- 2 場 所 仙台市役所本庁舎 第三委員会室
- 3 出席者 狩野恵委員, 庄子真岐委員, 白鳥裕之委員, 吉田浩委員  
申請者: 仙台 reborn 株式会社  
事務局: 文化観光局次長, 交流企画課
- 4 審議事項 仙台市広域集客型産業立地促進助成金に係る交付指定申請事業について  
対象事業: AQUA×IGNIS 仙台 (仙台 reborn 株式会社)

## II 議事要旨

### 1 開会

委員4名全員出席により, 委員会開催の定足数を満たすことを確認。

### 2 委員長, 副委員長選任

仙台市広域集客型産業立地促進助成金交付事業選定委員会設置要綱第4条に基づき, 互選により吉田委員を委員長, 庄子委員を副委員長に選任。

### 3 議事

#### (1) 議事要旨への署名について

狩野委員を議事要旨署名人として指名。

#### (2) 広域集客型産業立地促進助成金及び審査方法について

事務局から広域集客型産業立地促進助成金の概要について説明を行った。さらに, 審査方法については, 各委員が「広域集客型産業」, 「事業内容及び継続性」, 「地域産業への貢献度」の項目ごとの評価と総合評価を行うことを説明した。

#### (3) 申請者からの事業説明及び質疑応答

(申請者からの事業説明)

- ・ アクアイグニス は, 三重県菰野町に9年前にオープンし, 名古屋や大阪, 京都など遠方からの顧客も獲得している施設である。
- ・ 震災後, 東部復興道路の藤塚地区を施工した際, 現地に行く度に抱いた「この地を何とかしたい」との思いから, 施設の立地を決定した。
- ・ 仙台市防災集団移転跡地利活用事業として, 荒浜を中心に様々な事業者が多様な活動をしており, 当該エリアについて回遊する仕組みを作りたい。周辺地域と連携して, 皆で地域の発展のために盛り上げていきたい。

- ・ 施設の目玉は複数の有名シェフによるプロデュース。三重県の施設でも同じシェフがプロデュースしており、相当な集客を誇っている。仙台市のみならず、隣県からも来ていただけるような、またリピーターが集うような施設を目指す。
- ・ 年間 115 万人の誘客を目標とする。そのうち仙台市及び周辺 5 市 3 郡の仙台圏から 70% の 80 万人、仙台圏以外から 30% の 35 万人を誘客する。広域からの集客を目指す事業になる。
- ・ 昨年 4 月から開発造成工事、9 月から建物の着工をしている。木造棟はすべてできており、内装工事を残すばかりで、現在は温泉棟の工事を進めている。温泉は、昨年 1 月から掘削を開始し、約 1 年をかけて 1,000m まで掘り進め、汲み上げ検査をしたところ、十分な湯温、湯量、良好な泉質であることが確認できた。
- ・ 土地については、市から 30 年間借り受ける計画であるため、30 年後に、賑わいを取り戻し、やってくれてよかったと思われるような施設にしたいと思っている。まずは震災前藤塚地区に住んでいた方々を招待したいと考えており、いろいろな方々に意見をいただきながら、皆に喜ばれる施設を目指す。

(委員からの質疑応答)

〔委員〕三重県の施設との違いや地域らしさは、どのようなことか。

【申請者】三重県の施設には無いマルシェで、地場産の野菜や仙台牛等の魅力を発信し、地元色を大いに出していく。レストランにおいても仙台・宮城の食材を使った料理を提供していく。

〔委員〕リピーターを獲得するための戦略をどのように考えているか。

【申請者】周辺地域の施設等との連携により回遊する仕組みを作り、エリア全体で盛り上げていく。

〔委員〕二次交通についてはどのように考えているか。

【申請者】地下鉄荒井駅から専用のシャトルバスを出すことについて、関係先と調整している。

〔委員〕事業計画によると、1・2・3年目と少しずつ売上が上がっていく計画になっているが、10年後、20年後も同様の売上を見込んでいるのか。

【申請者】施設のブラッシュアップを常にしていきながら、売上を維持していきたいと考えている。また事業計画の妥当性については、リサーチ会社より達成可能という調査結果を得ている。

〔委員〕有名シェフは 30 年間変わらないのか。途中で変わることもあるか。

【申請者】飽きられないためには、変化も必要だと思っているので、その時々有名なシェフをお願いしていくことも考えている。

〔委員〕現在コロナ禍の状況にあるが、今後状況が好転しない場合のことを、どのように考えているか。

【申請者】ワクチンの普及により重症化率は減少している。アフターコロナのスタートダッシュで、皆で手を取り合い、未来へ向かって新しい仙台を作っていくという感覚でやっていきたい。

〔委員〕インバウンド対応については考えているか。

【申請者】いずれインバウンドが戻りそうであれば、外国語を話せる人材の採用も検討したいと考えている。また、ゆくゆくは仙台空港からシャトルバスを出したいと思っている。

〔委員〕施設内に設ける保育所は、従業員のための施設か。

【申請者】そのとおりである。

〔委員〕施設の滞在時間はどれくらいを想定しているか。

【申請者】温泉の滞在は1時間半程度。他施設との重複利用の場合はその2倍を見込んでいる。1人のお客様が、2・3箇所の施設を回っていただくことを狙いとしている。

〔委員〕例えば料理体験や農業体験等、子どもが体験できるような、カルチャーを感じる部分を出していくことが重要であると思う。

【申請者】昨年東北学院大学の学生に、季節ごとのイベントについてアイデアを出してもらった。そのようなアイデアを一つ一つ具現化していきたいと思っている。

〔委員〕周辺の渋滞が懸念される。

【申請者】まずは臨時駐車場で対応し、加えて旧道の活用を促すことにより、渋滞の発生を抑えることについて県警などに相談している。

#### (4) 審議

#### (5) 選定結果について

委員による意見交換の後、各委員において評価を行った。総合評価は全委員が「助成を行うことは適当」と評価し、「助成金の交付対象事業として適当である」旨市長へ報告することを決定した。

#### (6) その他

審議要旨に関しては、事前に委員の確認を経たうえで公開することを決定。

(議事終了)

議事要旨署名人 \_\_\_\_\_